

平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区名	阿倍野
学校名	大阪市立常盤小学校
学校長名	横田隆文

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

※ 理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全生徒
- ・常盤小学校では、第6学年 203名

平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語A、国語B、算数A、算数B、理科の平均正答率は全てにおいて、全国平均・大阪市平均を上回ることができた。
- ・国語科、算数科とも「知識に関する問題（A問題）」が「活用に関する問題（B問題）」より平均正答率が高い。
- ・平均無答率も国語科、算数科、理科とも大阪市平均、全国平均と比べて低い。
- ・児童質問紙から基本的な生活習慣、規範意識、自己肯定感も育っていると言える。
- ・授業において話し合い活動が取り入れられ、考えを発表したり、文で表現したり、深めあったり、思考力・判断力・表現力などの言語活動が位置づいていると言える。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

- ・知識に関する「書くこと」に著しい成果が見られる。
- ・活用に関する「読むこと」に成果が見られる。
- ・取材した内容を整理しながら記事を書く問題に課題が見られる。

〔算数〕

- ・「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」など領域全般的に成果が見られる。
- ・比較量と割合から基準量を求める問題に課題が見られる。
- ・数量や図形などの関係やきまりを見つけること、解き方やわけを説明することに課題が見られる。

〔理科〕

- ・エネルギー、生命の知識に関する問題に成果が見られる。
- ・観察、実験の器具についての名称、植物の栽培場所に適した内容等、学習を通して得た知識を日常生活に当てはめるなど活用力に課題が見られる。

質問紙調査より

- ・朝食喫食率、起床時刻、就寝時刻等、基本的な生活習慣は身につけている。
- ・宿題、計画を立てての家庭学習、予習等、学習習慣も全国平均と比較しても肯定的回答が高い。自分にもよい所があるという自尊感情は全国並みに育っている。
- ・「理科の勉強は好きですか」「観察や実験を行うことは好きですか」の問いは全国平均と比べても肯定的回答の割合が低い。
- ・「読書は好きですか」の問いには全国平均と比べても肯定的回答が高い傾向にある。
- ・「自分の意見を発表すること」「話し合い活動を通じて深めたり、広げたりできている」の問いにも全国平均と比べても肯定的回答の割合が高い。

今後の取組

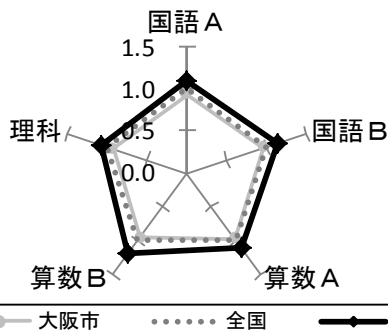
- ・保健だより、健康週間等を活用し、早寝、早起き、朝ごはん等、基本的な生活習慣がさらに身に付くよう、児童への指導とあわせて保護者にもさらに啓発していく。
- ・読書習慣も身につけていると言えるが、今後さらに、図書補助員の活用、開館回数を増やすなど環境を整え読書意欲を高めていく。
- ・習熟度別少人数指導も今後も継続し、学習して身に付けた知識を活用する場面を増やすなど授業づくりを進めていく。
- ・理科室の環境を整え、観察・実験する時間を充実させ、児童の自然や科学に対する興味・関心を高める工夫を行っていく。
- ・資料を活用して自分の考えを発表する場面やグループ活動で互いに考えを聞き合ったり、伝えあったりする授業をさらに進め、判断力・表現力をさらに育てていく。

【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	76.4	73.5	82.7	53.6	65.1
大阪市	65.7	62.5	72.8	42.8	56.3
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8

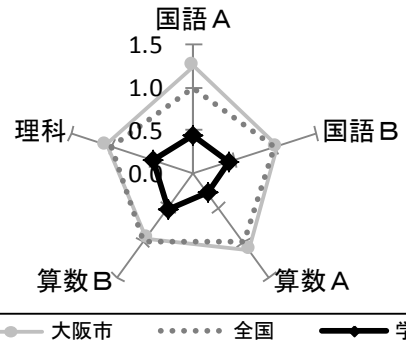
平均正答率(対全国比)



平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	1.6	2.7	0.5	4.7	1.6
大阪市	4.5	6.2	2.0	8.5	3.4
全国	3.6	6.1	1.8	9.1	3.2

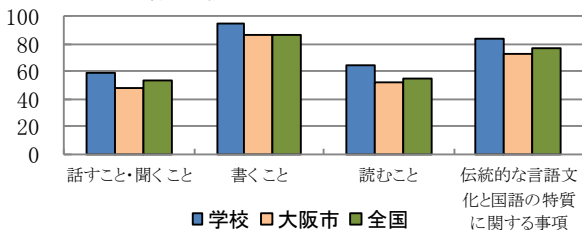
平均無解答率(対全国比)



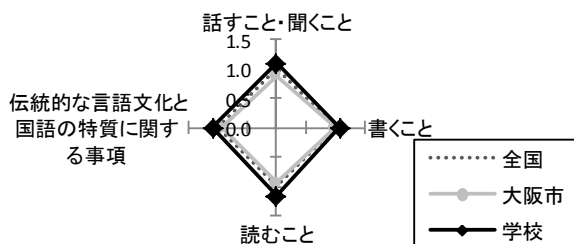
【 国 語 】

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	58.2	47.4	53.0
	書くこと	1	93.9	86.2	86.0
	読むこと	4	64.0	51.3	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	83.0	72.3	77.2

国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

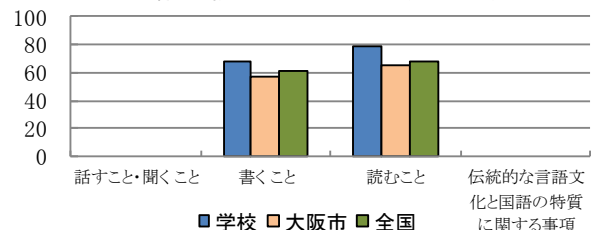


国語A 領域別正答率(対全国比)

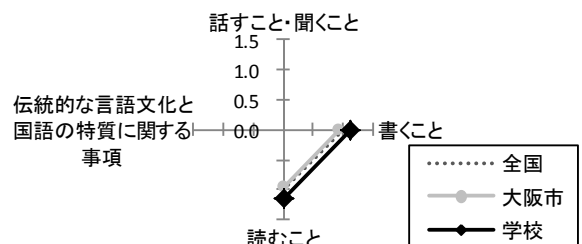


B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	—	—	—	—
	書くこと	6	68.5	57.5	61.1
	読むこと	6	78.2	65.6	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

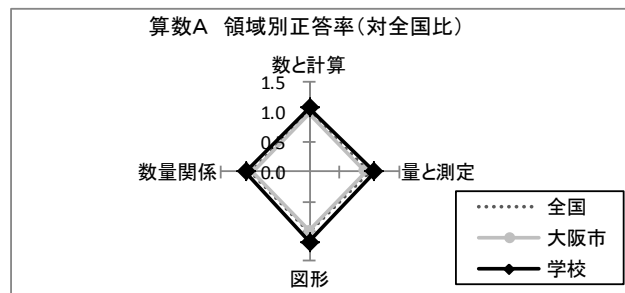
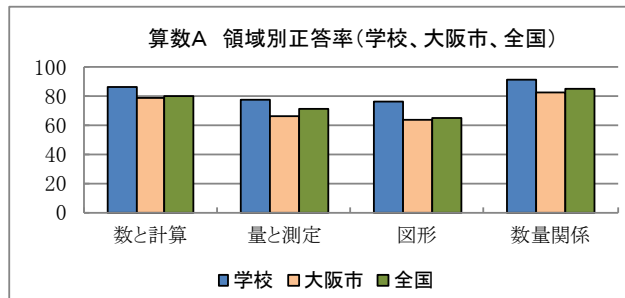


国語B 領域別正答率(対全国比)

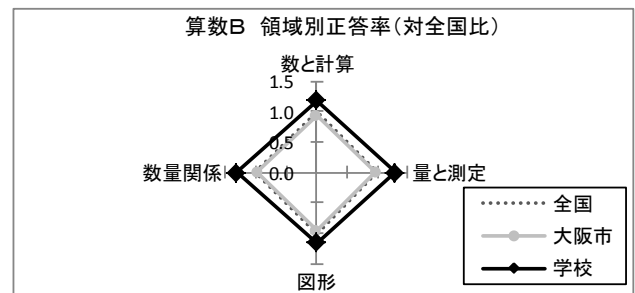
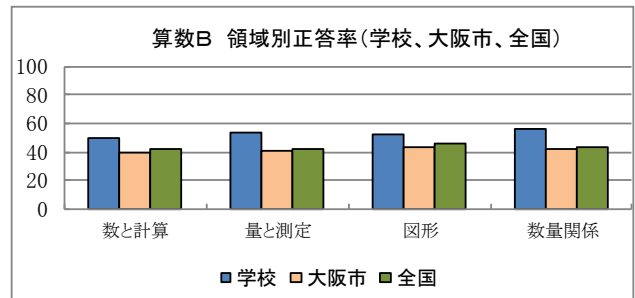


【 算 数 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	7	86.5	78.2	80.1
	量と測定	3	77.0	66.6	71.3
	図形	4	76.1	63.4	64.5
	数量関係	2	91.1	81.9	84.9

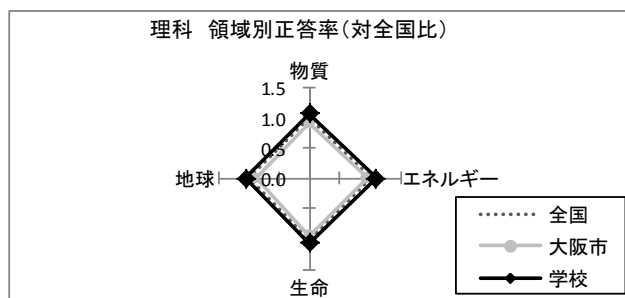
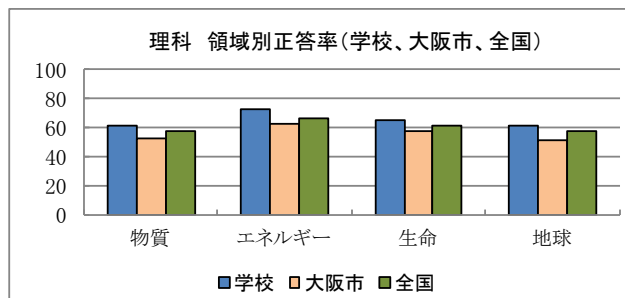


B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	4	50.4	39.4	42.4
	量と測定	3	53.7	40.6	41.7
	図形	7	52.6	43.6	45.6
	数量関係	3	56.5	41.6	43.0

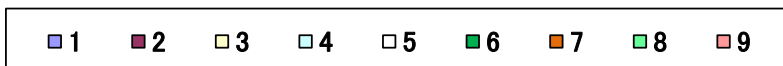


【 理 科 】

			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	物質	7	61.1	52.1	57.4
	エネルギー	6	72.4	62.4	65.6
	生命	6	65.2	57.8	61.2
	地球	7	60.6	50.8	57.8



児童質問紙より

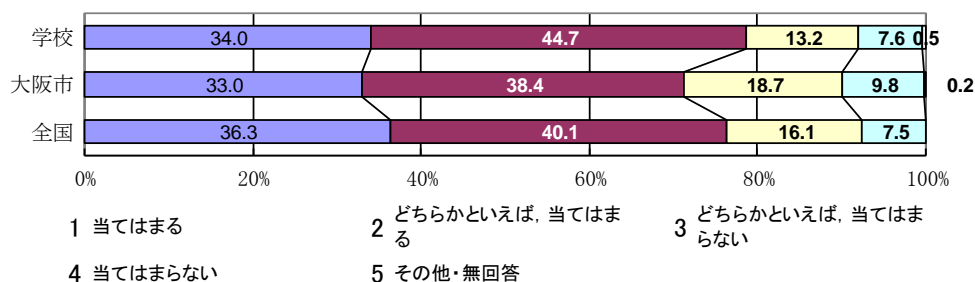


質問番号

質問事項

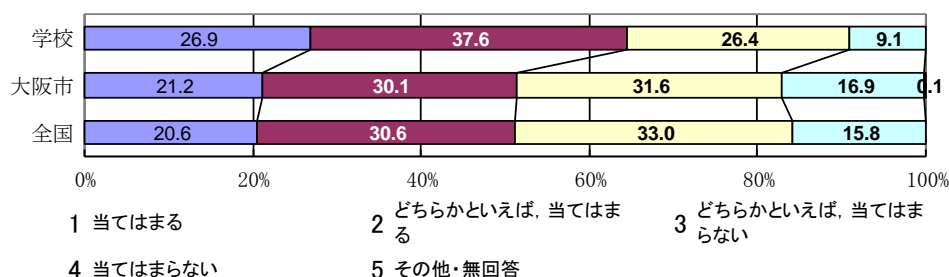
6

自分には、よいところがあると思いますか



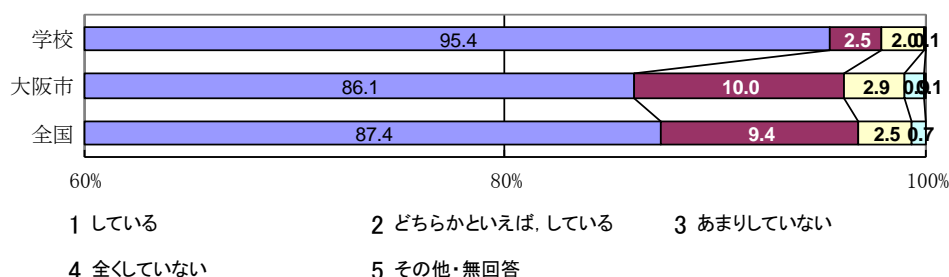
7

友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



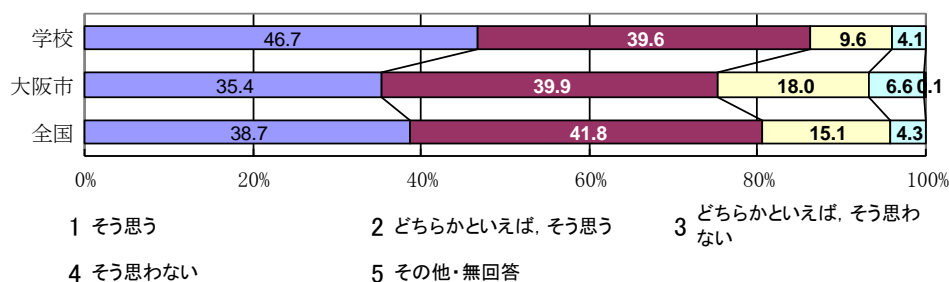
21

家で、学校の宿題をしていますか



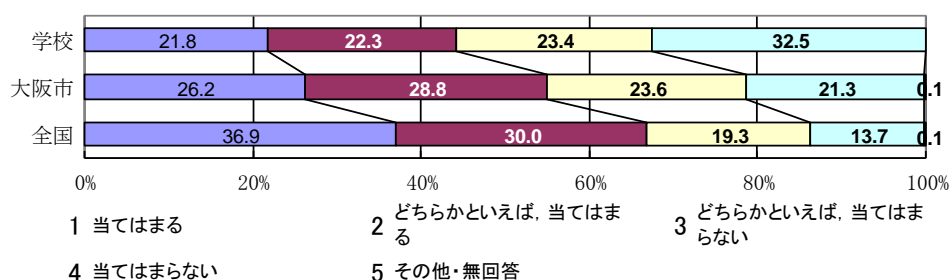
25

あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか



27

今住んでいる地域の行事に参加していますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

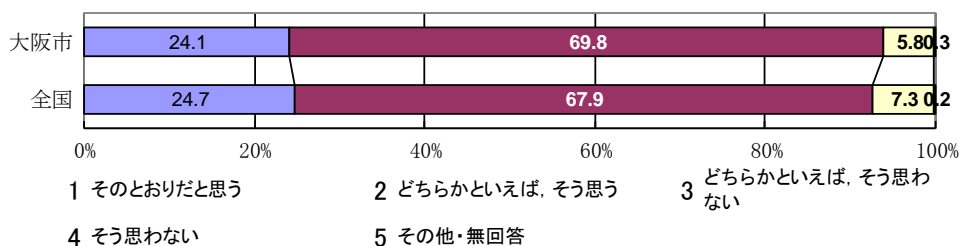
質問番号

質問事項

16

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

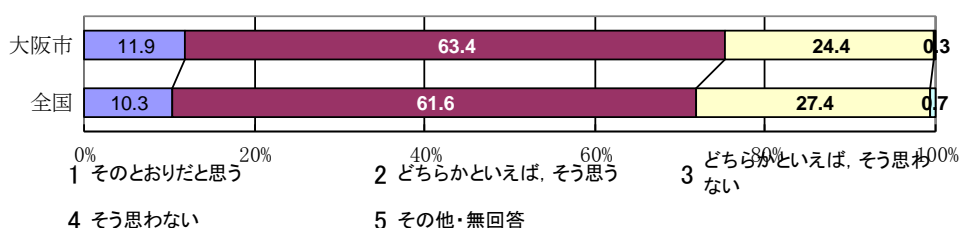
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



19

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

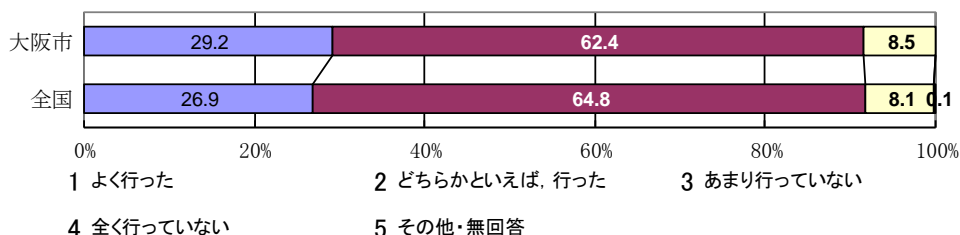
学校 「そのとおりだと思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

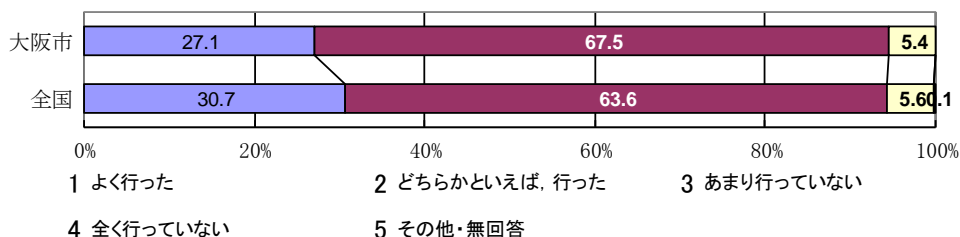
学校 「よく行った」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

